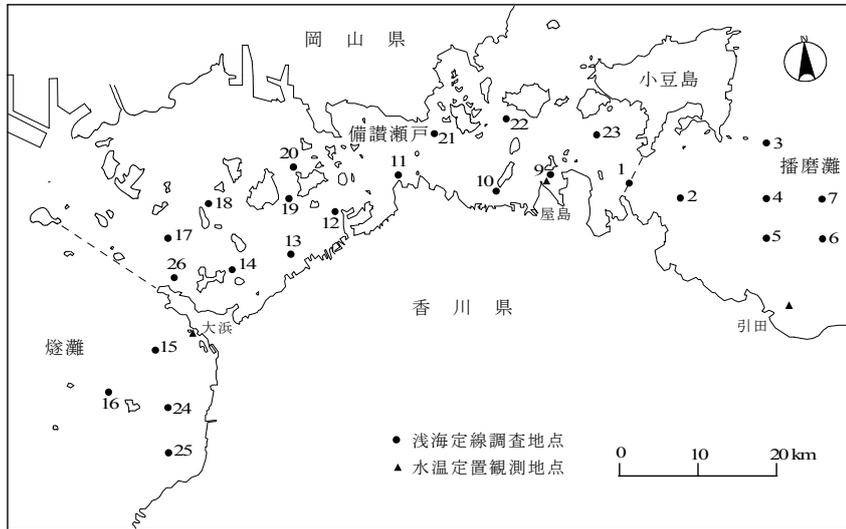


# 香川県漁海況速報 平成 22 年 9 月 (H22-6 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



## 2) 浅海定線調査

### (1) 調査日

平成 22 年 9 月 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 2 日 (播磨灘)

### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「やや低めから著しく高め」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「平年並みからやや高め」であった。

9 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	28.0	27.6	24.8	31.4	31.4	31.4	7.6	4.42	3.61
	平年値	26.7	26.1	25.1	31.7	31.7	31.9	7.9	4.44	2.99
	平年偏差	1.3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	0.9	0.8	0.9	0.7	0.7	0.5	1.9	0.50	0.59
	状 況	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	28.5	28.3	28.0	31.7	31.7	31.7	4.2	4.16	4.00
	平年値	26.8	26.5	26.4	31.6	31.7	31.7	4.3	4.23	4.00
	平年偏差	1.8	1.7	1.6	0.1	0.0	0.0	-0.1	-0.07	0.00
	標準偏差(σ)	0.9	0.9	0.9	1.0	0.8	0.8	1.1	0.30	0.28
	状 況	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
燧 灘	4地点平均値	29.9	26.5	24.4	31.9	32.0	32.1	12.3	4.55	3.29
	平年値	27.6	26.2	24.7	31.7	32.0	32.2	10.3	4.54	2.69
	平年偏差	2.3	0.3	-0.3	0.2	-0.1	-0.1	2.0	0.01	0.60
	標準偏差(σ)	1.1	1.0	1.0	1.1	0.7	0.6	2.6	0.53	0.71
	状 況	著しく高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$  : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

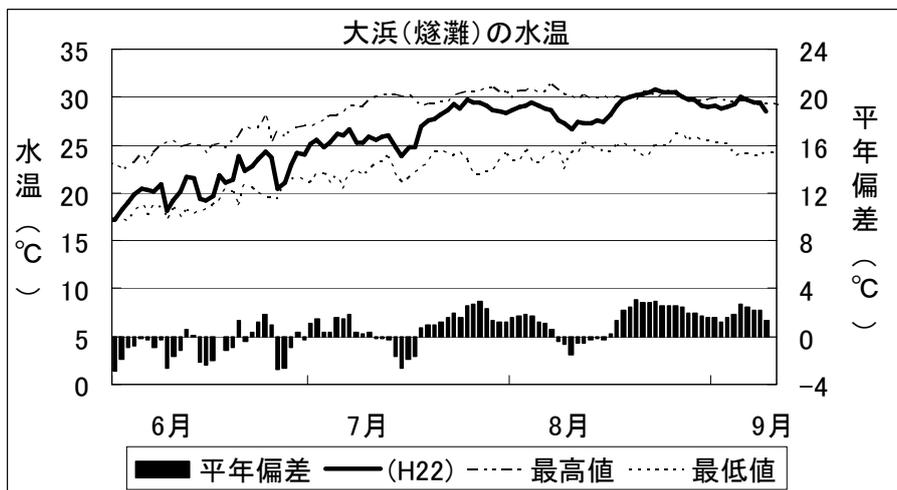
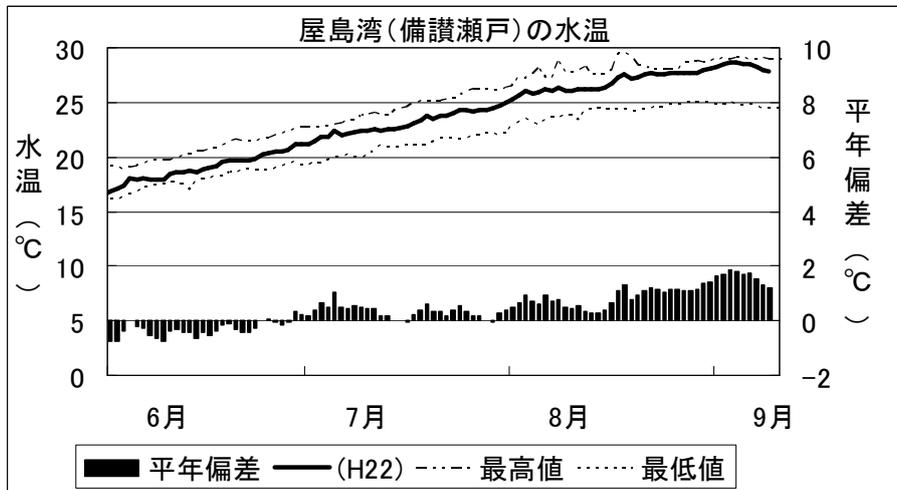
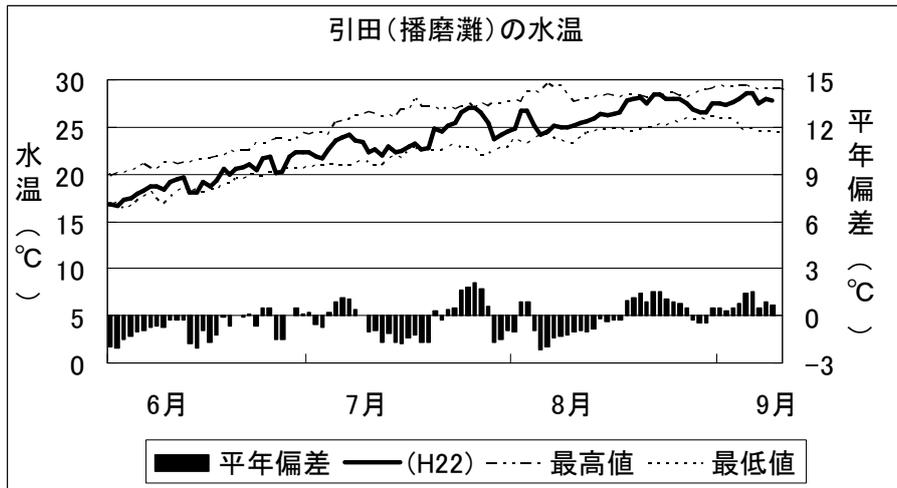
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 6月は著しく低めから平年並み, 7月はかなり低めからかなり高め, 8月はかなり低めからかなり高め, 9月は平年並みからやや高めで推移している。(6月に5日, 過去最低値を更新。7月下旬に1日, 8月下旬に1日, 過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 6月はやや低めから平年並み, 7月は概ね平年並み, 8月は平年並みからかなり高め, 9月はかなり高めから著しく高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 6月はかなり低めから平年並み, 7月は平年並みからかなり高め, 8月は平年並みから著しく高め, 9月は概ねかなり高めで推移している。(6月下旬に1日, 過去最低値を更新。8月下旬に5日, 過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年  
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



#### 4) 赤潮 (8月17日～9月20日)

播磨灘：8月17日から27日までの間に播磨灘南部海域（東かがわ市～さぬき市津田地先）において *Mesodinium rubrum*, *Karenia mikimotoi*, *Cochlodinium polykrikoides* による赤潮が確認されている。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成22年9月1日（備讃瀬戸，燧灘），2日（播磨灘）

出現量

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年（1980）～平成21年（2009）年度

マイワシ：平成5年（1993）～平成21年（2009）年度

イカナゴ：平成7年（1993）～平成21年（2009）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	23.1	11.4	0.0	0.0	2.5	8.4
	平年値	19.0	1.9	0.0	0.0		
	対平年(%)	122	613	－	－		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	3.6
	平年値	0.8	0.4	0.0	0.0		
	対平年(%)	0	0	－	－		
燧灘	平均値	0.7	2.1	0.0	0.0	2.7	5.7
	平年値	13.6	1.6	0.0	0.0		
	対平年(%)	5	130	－	－		
総平均	平均値	6.3	3.5	0.0	0.0	2.6	5.4
	平年値	9.7	1.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	66	235	－	－		

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



## 2. 漁況

8月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、キュウセン、ニベ（コイチ）、シロギス、メイタガレイ、ネズッポ類、ウシノシタ類、小エビ類、クルマエビ、マダコ、イイダコ、ジンドウイカ、コウイカ、アカニシが漁獲されている。また、小エビ類、マダコ、イイダコは好調、クルマエビは9月から増加、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>東讃のしらす船びき網は、8月までは好調な漁獲が続いていたが、9月に入って減少した。</p> <p>建網では主にスズキ、カサゴ、クルマエビが漁獲されているが低調である。</p> <p>大型定置網では主に、マアジ、マルアジ、タチウオ、イボダイが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にマダイ、メイタガレイ、マアナゴ、マダコ、クルマエビ、小エビ類、アカニシが漁獲されている。マダコは好調であるが、クルマエビは低調である。</p> <p>まながつお流し刺し網による漁獲は、低調だった昨年をさらに下回っている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にメイタガレイ、テンジクダイ、マダコ、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主に豆アジ、ボラが漁獲されている。</p> <p>建網では主にメバル、カサゴが漁獲されている。</p> <p>いわし機船船びき網における平成22年のカタクチ共販量は、1,480トン(前年比58%、平年比99%)で8月25日に終了した。</p>